

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月7日

事業所名

療育サポート こぼると

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2		・活動内容により分散化をする事でスペースの確保を図っている。	・部屋を広く使えるように、活動内容によっては小グループに分かれて活動をする等の対応で室内を満遍なく使えるように配慮しています。
	2	職員の配置数は適切である	2	2	1	・法令を順守し、利用人数に合わせて安全に過ごしてもらえるように人員配置を行っている。	・療育を受けるお子様の特性に合わせて安全に過ごして頂けるように人材確保をしてまいります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	3		・職員が危険予測を行い、安全対策を行っている。	・安全第一の環境で療育提供ができるよう点検等を続けていきます
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2	3		・業務担当を職員が持っており、その業務の取りまとめを担当者が行う事で業務改善を行うようにしている。	・月1回の支援会議や毎日の朝礼等で担当業務についての報告や提案を行っていく事を継続します。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		・アンケートだけではなく日頃から保護者様よりいただいたご意見を出来る限り改善できるように意識している。	・今回が初めての事業所評価ではありませんでしたが、保護者様からの意見に常に耳を傾けて安心して過ごして頂ける事業所作りを今後も心掛けていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2		・今回が初めての自己評価になるが公開の予定にしている。	・今後も事業所評価の公開を継続して行って参ります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3	1	・外部評価を行っていない。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1	1	・研修参加を心掛けている。	・年間研修計画書を基に職員のスキル向上を目的に研修への参加も積極的に行ってまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			・6か月に1回の支援会議や送迎時の報告等の際に保護者様とコミュニケーションを図り、保護者様の困り事等をお聞きし必要な支援に繋げられるように心掛けている。	・今後も継続します。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	2	1	・アセスメントシートを活用し、状況把握を行っている。	・今後も引き続き実施し、必要に応じた情報共有を行ってまいります。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1		・支援会議や毎日の朝礼等の場で話し合っている。	・今後も職員で話し合いながら活動プログラムの立案を行い、支援提供を継続します。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			・職員間でアイデアを出し合いながら活動プログラムを検討している。	・今後も継続します。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2		・平日利用時と1日利用時のそれぞれに出来る活動内容や療育内容を検討し、担当者がそれぞれに合った療育課題提供を行っている。	・今後も継続します。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			・お子様の状況に応じて、個別と集団の活動内容を検討している。	・今後も継続します。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	2		・情報共有を職員間でしっかり行っている。	・今後も継続します。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		5		・送迎で戻ってくる時間がバラバラで退勤の時間差もあるので、必要最低限の情報共有を行い、翌日の朝礼で再度情報共有を行っている。	・現状、全員が同じ勤務時間ではない為、支援終了後の打ち合わせが難しい状況ですが確実に情報共有が職員間で行えるように翌日の朝礼で必ず情報共有ができる時間をとっています。今後も継続し、職員間の情報共有を確実にしていきます。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			・利用された後に療育内容を必ず記録し、必要に応じた支援提供が行えているが確認している。	・今後も継続します。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1		・毎月の職員参加の支援会議、6か月ごとの保護者様参加の支援会議にて見直しを必要に応じて実施。	・今後も継続し、お子さまの状況把握に努めます。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	3	2			・ガイドラインの内容を職員に周知するように配置します。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			・児童発達支援管理責任者が参加している。	・今後も継続し、必要に応じて適任な人材が参加します。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4	1		・学校によって対応は違うが、出来る限り学校の先生との情報共有を行っている。 ・送迎の調整は必要に応じて、できるだけ事前に行うようにしている。	・下校時間のダブルチェックをする等の確認作業を行い、必要に応じて学校に連絡を入れる等の連絡調整、お子様の当日の学校での様子等の情報共有を今後も継続します。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		3	2		・現在、医療的ケアが必要な利用者の受け入れは行っていない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	2	1		・情報共有を直接行った事は現時点ではない。保護者様や相談支援事業所の担当者様から情報収集を行うことが多い。	・必要に応じて、参加をします。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		4	1		・現在、まだ障害福祉サービス事業所等へ移行する利用者がいない為、実施していない。	・必要に応じて、情報共有を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		1		・研修に参加する事で、様々な情報を得ている。	・今後も継続します。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			5		・公園等の公共施設の利用をする際は活動を共にしている。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		4	1		・現状、参加していない。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5				・情報共有がしっかり行えるように連絡帳だけではなく口頭でも伝えるようにしている。 必要に応じて電話連絡を行い、保護者様からの意見も伺うようにしている。	・今後も継続します。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	1	1		・ペアレントトレーニング等の実施はしていない。 送迎時に相談等があった場合は出来る限り保護者様に寄り添って話を聞き、アドバイスや提案が出来るようにしている。	・今後も継続します。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			・担当者がしっかり時間をとって説明を行っている。	・細かい声掛けと説明を今後も継続します。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			・連絡帳に記入されている事や送迎時に保護者様から伺った話は、職員間で必ず情報共有を行い、支援に繋げるようにしている。	・今後も継続し、保護者様に寄り添った支援が提供できるように心掛けます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4	1	・実施したことはない。	・現状、開催した事はないですが、今後、検討していきたいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		1	・苦情は「いただいた」という認識をもち、対応している。	・今後も誠心誠意対応していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3		2	・SNSでの情報の発信やご利用時の様子・写真を保護者様に共有している。	・定期的にInstagramやブログの更新を行い、活動の様子を配信しますので今後も継続します。
	35	個人情報に十分注意している	5			・個人情報の取り扱いに関する誓約書を交わし、社外への個人情報の持ち出しは厳禁としている。また、個人情報は鍵付きの棚で保管している。	・今後も継続します。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			・使う言葉にも気を付けながら接するように常に心掛けている。	・今後も継続します。
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		2	3	・地域の方に参加して頂く活動等は現状行えていないが、会った際にはお子様もスタッフも挨拶を行うようにしている。	・今後、検討していきます。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4		1		・現在活用しているマニュアルを保護者様へも周知できるようにホームページへの掲載を検討しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3		2	・避難訓練は年2回行い、佐賀市にも報告書を提出している。	・現在活用しているマニュアルを保護者様へも周知できるようにホームページへの掲載を検討しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			・佐賀県の出前講座を依頼し、研修に全職員が参加している。	・今後も継続します。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3		2	・現状、身体拘束を行った事例はないが、身体拘束における指針を作成し、職員間で情報共有を行い、慎重に動くようにしている。	・今後も継続し、定期的に内容の検討を行います。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3		2	・契約時にアレルギーに関しての情報共有を行っている。アレルギーがあるお子さまに対しては細心の注意を行うよう情報共有を行っている。	・今後も保護者様との情報共有を行い、必要に応じた適切な対応ができるように対応します。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		1	・ヒヤリハットの報告書を基に事例検討を行っている。	・今後も継続し、安全に安心して利用してもらえるようにします。